

## 第3回 釧路市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時：平成 25 年 3 月 28 日（木）10：00～10：40

場 所：道東経済センター 5階 会議室

出席者：構成員（15名）タウンマネージャー等（2名）協議会オブザーバー（6名）

事務局（9人）オブザーバー関連事務局（3名） 計 35名出席

次 第：1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

（1）平成 24 年度事業報告並びに収支決算見込みについて（資料 1）

（2）平成 25 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について（資料 2）

（3）その他

4. 閉 会

1. 開 会

《事務局》

開会を宣す。

2. 会長挨拶

《会長》

再開発施設を核とした中心市街地の活性化を目指し、誘致活動などを行っているが、現状の厳しい商業環境で関係企業は慎重になっている。

本日は、これまで進めてきた地権者との合意形成の状況やテナント誘致の働きかけ等に関する事業報告と収支決算見込み、新年度の事業計画案と収支予算案についてご審議いただくので、忌憚のない意見をお願いしたい。

規約 11 条 1 項により会長が議長となり、議事を進行する。

3. 議 事

（1）平成 24 年度事業報告並びに収支決算見込みについて

《事務局》（資料 1）

資料に基づき、再開発事業の推進状況、リーシング活動の経過、空き店舗の掲載情報、イベント等の中心市街地ソフト事業への支援状況、会議の開催等について、また、平成 24 年度の収支決算見込みについて報告がされた。

【タウンマネージャー活動報告】

《タウンマネージャー》（資料 1-2、1-3）

資料に基づき、市街地再開発素案について説明がされ、続けて地権者交渉の同意内容、その他事業等が報告された。また、スケジュールとして、今年度進められた再開発事業推進の経過について説明がされた。

《議長》

本件について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

（2）平成 25 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

《事務局》（資料 2）

資料に基づき、協議会の役割と、予定されている協議会の事業について、また収支予算案について説明がされた。

《議長》

本件について議場に諮られた。

〈質疑応答〉

《市民団体・まちづくり》

特定目的会社の検討についてももう少し詳しく説明をいただきたい。

《タウンマネージャーより回答》

デベロッパーが現れない場合、他の地域を参考とし、特定目的会社の設立も視野に入れながら、交渉を行っていく必要があると考えている。

《市民団体・まちづくり》

37億円の事業費の中で、特定目的会社の設立はハードルが高いと考えられる。総事業費の確定ができない限り事業が進まず、地権者がどのラインで参加してもらえるのかを最優先事項として交渉を進め、その結果確定した総事業費を、デベロッパーの参考要素とし、テナント賃料もその事業費に準じて算定していくべきではないか。

《タウンマネージャー》

話の通りと考えているので、この後説明するが、4、5月についても引き続き地権者の同意確認を最優先として進めていく。事業費についても、今の留意点を踏まえつつ、地権者の対応を行っていく。

【中心市街地活性化事業推進スケジュール（平成25年度）について】

《タウンマネージャー》資料2-2

地権者の同意確認を最優先とするスケジュール立てとしており、5月を目途に進めたいと考えている。同時に事業主体、テナントのリーシング活動を進め、6月の協議会ではそれらを含め、事業を進めていけるか、まだ掛かるかを判断し、報告させていただく旨が説明された。

《議長》

本件について議場に諮られた。

〈質疑応答〉

《市民団体・まちづくり》

市はどのような関わりを持って進めていくのか。

《行政より回答》

中心市街地活性化基本計画策定のために、引き続き関連機関からの情報収集を行っていく。また、協議会の中で、昨年11月に最終段階に入っている旨の報告を受けており、6月を目途を付けるという重要な時期となっているので、商工会議所、まちづくり釧路への協力を行っていく。

《議長》

以降意見はなく、議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

(3) その他

《議長》

予定されていた議案審議が終了し、質問が求められた。

意見等はなく、議事の終了が告げられた。

4. 閉会

《事務局》

閉会を宣する。

以上